

広島大学大学院 文学研究科

2019



人文学専攻

- 人間文化学 ●思想文化学 ●歴史文化学 ●日本・中国文学語学
- 欧米文学語学・言語学 ●地表圏システム学

Graduate School of Letters
Hiroshima University

文学研究科の特色・沿革

人間学を真摯に追求し、未来への責務に応えます。

広島大学大学院文学研究科の目指す人文学とは、人間の思想、人間の生活の営みの歴史、人間の言語など、人間そのものにかかわる諸問題を総合的に究明する学問です。

20世紀は自然科学および社会科学の発展に邁進し、人文科学分野が軽視されてきたという反省が世界的規模でなされています。本研究科はその反省に立って、「人間学の復興」を基本理念とした高度の教育研究を目指します。

平成13年(2001年)、文学部から大学院文学研究科へ部局が移行(大学院部局化)しました。同時に大学院の改組も行われ、人文学1専攻・5教育研究分野、7基幹講座・1協力講座からなる新・文学研究科が発足しました。平成19年(2007年)には、新たに比較日本文化学(平成22年に人間文化学と改称)を開設し、6教育研究分野となりました。さらに講座再編も行い、平成20年(2008年)からは、6基幹講座となっています。

今、広島大学大学院文学研究科は名実ともに大学院大学としての地歩を固めつつあります。

本研究科では人文科学を全体として有機的に統合する人文学の教育研究を推進します。従来のディシプリンを踏まえながらも分野横断的教育を提供することにより、時代の変化に対応しうる柔軟な発想を持った人材を養成することを目指しています。このため、人文学専攻全体を方向づける俯瞰型教育研究のコアとして総合人間学講座を設けています。

教育システムでは、コアカリキュラム・ミニコアカリキュラムの開設、複数教員指導制、学位取得スケジュールの明確化などにより柔軟化を図り、大学院の教育機能を大幅に拡充しています。また、複数機会入試制、外国人留学生特別選抜、社会人入試枠の拡大、教育コースの複線化を実施し、社会の多様化した高等教育のニーズにも対応しています。

広島大学大学院文学研究科は、これまでのすぐれた研究教育実績の上に立って、新たな大学院教育への挑戦を行っています。

文学研究科長メッセージ

広島大学大学院文学研究科は、広島文理科大学(昭和4年創設)を母体とする新制広島大学文学部の発足(昭和24年)をうけて、昭和28年に設置されました。その後、着実に講座増設を重ね、日本の人文科学における一大研究教育拠点として発展してきました。

先端的研究を行い学界をリードするとともに、研究者養成大学としての機能を十分に発揮し、全国の高等教育機関に有為な人材を輩出してきました。また学術研究の分野では、3名の日本学士院賞(1名の恩賜賞)の受賞者を生むなど輝かしい実績を誇っています。

平成13年からは大学院に部局をシフトし、文字通り日本を代表する研究大学院になりました。その際、14専攻を1専攻5教育研究分野に再編しました。そして平成19年には、新教育研究分野として比較日本文化学を開設しました。現在、文学研究科は6教育研究分野(このなかに多くの専門分野を含みます)を擁し、みなさんにきめ細かい研究指導ができる体制を整えています。広島大学大学院文学研究科の門を叩き、未来を開拓する人文学の旅に出てみませんか。

教育研究分野と講座群

人間文化学分野 (Human Studies)

人間文化学分野は、幅広い視点から多角的に日本文化を考究することを教育研究の求心力として、思想文化学、歴史文化学、日本・中国文学語学、欧米文学語学・言語学、地表圏システム学等を基礎に、学際領域をも視野に入れ、多文化社会、異文化交流、比較文化などの問題意識を持ち、世界に向けて日本の人文学研究を発信することができる人材の養成を目指して開設された分野です。日本文化を学際的・国際的視点から相対化しつつ多角的に考究するにあたって、上記の各領域のいずれかに重点を置いて全体像を模索するか、もしくは領域を横断的に扱って巨視的な問題提起を行うかは、指導を担当する教員の専門分野と専攻する学生の関心の所在に応じて柔軟に選択できます。



思想文化学分野 (Philosophy)

現代社会の急激な変化は、伝統的な価値観を動揺させ、人々の生き方に不安と混迷をもたらしています。現代社会は多様な価値観が錯綜する社会です。この多方面にわたる諸相を、世界観・人間観・生命観・人生観・社会観・自然観等の思想文化の視点から検討し直す必要に迫られています。思想文化学分野では、西洋哲学・インド哲学・倫理学・中国思想文化学の伝統的な文献学的方法を踏まえ、思想文化の理解を深化させるとともに、応用哲学の実践的・横断的な研究によって、人間存在の普遍的な問題、現代社会の新たな問題について、思想文化学の視座から教育します。すなわち、欧米・インド・中国・日本等各地域の社会・歴史の中で受け継がれてきた人類の英知に基づいて、現代を思索する人間を育成します。



歴史文化学分野 (History)

世界を揺るがす民族問題や環境問題が示すように、現在では一国の単位や従来の研究の枠組みにとらわれない学問の推進が求められています。歴史文化学分野では、日本など各国の歴史的個性とともに世界的関連性を捉えることを重視し、総合的・多面的に歴史文化の実証的追究を行います。このため、伝統的な文献史料の分析に加えて、フィールドワークやコンピュータを利用したデータ分析や史料解析等の実験的方法に基づく高度な教育研究を行います。また、先端的な研究手法と広範な世界認識を育む授業の一層の充実を図り、広い領域にわたる授業が多面的に履修できるように、柔軟で相互補完的なカリキュラムを編成しています。



日本・中国文学語学分野 (Japanese and Chinese Languages and Literatures)

日本・中国文学語学分野では、東アジアにあって歴史上つねに密接な関わりあいを持ち続けてきた日本と中国の文化事象を研究対象とします。日本においては千数百年、中国においては数千年におよぶ長い歴史の中で生み出された多様な文化遺産のうち、主に記述された言語資料を取り上げて、文学・語学の視座から精密に読み解き、深い考察を加えます。さらに、日中双方の言語・文芸の特色をつぶさに比較検討して相互の影響関係の様相を探究し、また両者を総体として大きな視座で捉え直すことで、21世紀の我が国の将来を展望するとともに、世界における東アジア文化のアイデンティティの解明とその確立に貢献することを目指します。



欧米文学語学・言語学分野 (British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistics)

欧米文学語学・言語学分野では、アメリカ・イギリス文学、英語学、ドイツ文学語学、フランス文学語学、言語学を研究します。文学部の「欧米文学語学・言語学」コースに対応しています。21世紀に相応しい文化多元主義の観点から、英語、ドイツ語、フランス語、日本語を含む諸言語の歴史的研究、記述および理論的研究を推進するだけでなく、主として欧米の言語を駆使して創造された文学を、文芸理論、言語理論、文献学的手法を援用して研究します。こうした教育や研究を実践しながら、言語と文化の関係を世界的な観点から志向することのできる国際性豊かな人材の育成を目指します。



地表圏システム学分野 (Geography, Archaeology, and Cultural Heritage)

地表圏システム学分野では、人類が創り上げ、地球表面上に残存させた諸事物(文化景観、集落、遺跡・遺物、諸文化財)を、地形・気候などの自然環境や社会経済的環境などと有機的に関連付けて、地球上の多様な地表圏文化を学際的・総合的に把握することを目標とします。そのための教育・研究は主に、地理学的地域調査や活断層調査、コンピュータ解析と年代測定、遺跡発掘や考古資料の分析、有形・無形文化財の調査とその保存修復などのフィールドワークや理化学的分析といった実験的手法によって達成されます。さらに、今日、世界的課題となっている文化遺産や自然遺産の保護、文化景観の保全、地球環境問題などにも、実践的に対応できる教育と研究を行います。



教育研究分野を支える講座群



文学研究科スタッフ

総合人間学講座 (教育研究分野：人間文化学)

文化多元主義など世界的な規模で起こっている大きな認識の変革の流れを踏まえ、哲学、史学、文学等の伝統的な学問体系を骨格としながら、総合的な人間学を開拓し、領域横断的な新しい人文学の確立を目指す。このため分野を横断する研究を行い、文学研究科全体を方向づける俯瞰型教育研究を担当する。

<専門分野>	氏名	職名	研究領域
<比較日本文化学分野>			
佐藤利行	教授	人間文化学、中日比較文化学および中国六朝文学の研究	
高永茂	教授	日本語学、語用論、方言学	
中村平	教授	日本学、人類学、日本植民主義、台湾先住民、歴史経験	
溝渕園子	教授	日露比較文学、異文化表象の研究	
劉金鵬	助教	戦後日本史、戦後日本知識人のアジア論	

応用哲学・古典学講座 (教育研究分野：思想文化学)

多様な価値観が錯綜する現代社会の諸相を思想文化の観点から哲学的に考察するために、先端的な応用哲学の実践的横断的研究を行うとともに、欧米・インド・中国・日本等の古典の中で培われた人類の英知を教育研究する。

<専門分野>	氏名	職名	研究領域
<哲学分野>			
後藤弘志	教授	近現代ドイツ哲学	
赤井清晃	准教授	西洋古代・中世哲学研究	
碓井智樹	准教授	ヘーゲル及びドイツ観念論研究、西洋近代哲学研究	
<インド哲学分野>			
根本裕史	教授	インド・チベット仏教思想文化研究	
川村悠人	准教授	サンスクリット語源学、文法学、ヴェーダ聖典解釈学	
<倫理学分野>			
衛藤吉則	教授	シュタイナー思想、教育倫理学、近代日本思想	
後藤雄太	准教授	ニーチェ、ハイデガー、生命倫理学、情報倫理学	
岡本慎平	助教	十九世紀イギリス哲学、ロボット倫理学、現代倫理学理論 (主にメタ倫理学)	
<中国思想文化学分野>			
有馬卓也	教授	中国古代思想文化研究、近世・近代日本漢学研究	
末永高康	教授	中国古代思想文化研究	
藤田 衛	助教	『易経』を中心とした占術の研究	

歴史文化学講座 (教育研究分野：歴史文化学)

各国の歴史的個性と世界的連関に着目し、日本・アジア・ヨーロッパといった広領域での相互の関連性や多様性を重視した教育研究を行い、現代社会の歴史的課題を究明する。そのために、従来の講座の垣根を越えて日本史学と世界史学の両講座を統合し、国際的・学際的な教育研究を進める。

<専門分野>	氏名	職名	研究領域
<日本史学分野>			
中山富廣	教授	近世日本の村落社会を対象とした社会経済史的研究	
本多博之	教授	中世日本の政治・社会経済・文化の研究	
奈良勝司	准教授	19世紀朱子学、明治維新論、近代日本の自他認識と世界観	
<東洋史学分野>			
金子肇	教授	近代中国の行財政史および憲政史の研究	
八尾隆生	教授	前近代ヴェトナム史および史料学研究	
船田善之	准教授	モンゴル帝国の政治・制度・社会・文化・言語とその多様性の研究	
<西洋史学分野>			
井内太郎	教授	近代イギリスの政治と社会に関する研究	
前野弘志	教授	古代地中海世界史・碑文学の研究	
足立孝	准教授	中世スペインの社会経済史研究	

日本・中国文学語学講座 (教育研究分野：日本・中国文学語学)

日本と中国の文学と言語を、各専門分野で確立した方法によって実証的に考究するとともに、新しい方法と領域を常に開拓し続ける柔軟性をもって見直すことに努め、古代から現代まで密接な関係を築いた両国文化の総体をも視野に入れつつ教育研究を行う。

<専門分野>	氏名	職名	研究領域
<日本文学語学分野>			
有元伸子	教授	日本近現代文学研究、ジェンダー批評	
久保田啓一	教授	近世和歌、江戸文壇の研究	
妹尾好信	教授	平安時代物語・和歌文学、中世王朝物語の研究	
下岡友加	准教授	日本近代文学、日本語文学	
白井純	准教授	日本語史、キリシタン版、近世後期藩校蔵書の研究	
<中国文学語学分野>			
小川恒男	教授	六朝楽府、清末民初の語学文学研究	
川島優子	教授	『金瓶梅』を中心とした明清白話小説の研究	
陳 獅	准教授	中国中世文学、東アジア漢籍交流史	

欧米文学語学・言語学講座 (教育研究分野：欧米文学語学・言語学)

文化多元主義の観点から、英語、ドイツ語、フランス語、日本語を含む諸言語の歴史的研究、記述および理論的研究を推進するだけでなく、主として欧米の言語を駆使して創造された文学を、文芸理論、言語理論、文献学的手法を援用して研究する。

＜専門分野＞	氏名	職名	研究領域
＜アメリカ・イギリス文学分野＞	大地 真介 吉中 孝志 Vallins, David 倉田 賢一 松本 舞	教授 教授 教授 准教授 助教	19世紀と20世紀のアメリカ文学およびアメリカ南部の文学 英詩、16・17世紀英文学 イギリスロマン派文学、モダニズムの文学、アメリカンルネサンス文学 イギリス近現代小説・批評理論 形而上派詩、錬金術文学
＜英語学分野＞	今林 修 大野 英志	教授 准教授	18・19世紀英国小説における言語・文体研究 14世紀後期イギリス文学の言語、英語の歴史
＜ドイツ文学語学分野＞	小林 英起子 Federmaier, Leopold 今道 晴彦 古川 昌文	教授 教授 准教授 助教	18世紀ドイツの演劇と文学、ドイツ近代文学 19・20世紀オーストリア文学・比較文学 ドイツ語コーパス言語学 現代ドイツ文学、カフカ研究
＜フランス文学語学分野＞	宮川 朗子 Beuieux, Marie Noelle Lorrillard, Olivier 奥村 真理子	教授 准教授 准教授 助教	19世紀フランス文学 フランス近現代文学、比較文学 古典文学、フランス語の教授法 16世紀フランス文学
＜言語学分野＞	今田 良信 上野 貴史	教授 准教授	フランス語を中心とした通時的言語研究、対照言語学 イタリア語・英語を中心とした統語論研究、通時的言語研究、日本語対照言語学

地表圏システム学講座 (教育研究分野：地表圏システム学)

多様な地表圏文化の有様を過去から現在にわたって解明し、その調和的な保全と活用を図ることを目指し、都市農村、歴史的景観、文化財、遺跡などの諸事物を歴史的・社会的環境や自然環境と関連づけて総合的学際的な教育研究を行う。

＜専門分野＞	氏名	職名	研究領域
＜地理学分野＞	奥村 晃史 友澤 和夫 後藤 拓也 後藤 秀昭 笛吹 理絵	教授 教授 准教授 准教授 助教	火山灰編年学・古地震の研究 知識経済化と産業立地の研究、インド工業化の研究 アグリビジネスの地理学的研究、インドの農業地域研究 地形の成り立ちや活断層の研究、地理情報システムを用いた研究 人と動物の関係（動物地理）、日本の島嶼部における地域振興
＜考古学分野＞	竹広 文明 野島 永唯 有松 唯	教授 教授 准教授	先史社会の研究、環境変化と人類史の考古学的研究、たたら製鉄史 弥生時代の研究、古代鉄器文化の研究 西アジア古代文明の成り立ち、人類史における鉄の起源
＜文化財学分野＞	安嶋 紀昭 伊藤 奈保子	教授 准教授	日本・東洋美術（絵画・彫刻等）の調査・研究 古代インドネシアの宗教美術の研究、日本工芸史の研究

プロジェクト研究センター

広島大学には、先端的研究の推進等を目的として、学内に約60のプロジェクト研究センターが設けられています。文学研究科の教員も分野の枠を越え、以下のセンターを運営し重要な役割を担っています。また、研究成果を、大学の個性・特色として広く社会にアピールすることも目指しています。

- ・比較論理学プロジェクト研究センター
- ・応用倫理学プロジェクト研究センター
- ・中国古典文学プロジェクト研究センター
- ・表現技術プロジェクト研究センター
- ・石灰岩地帯一人と自然の共生プロジェクト研究センター
- ・世界遺産・厳島一内海の歴史と文化プロジェクト研究センター
- ・比較日本文化学プロジェクト研究センター

内海文化研究施設

文学研究科では、早くから、瀬戸内海を中心とする内海文化に深い関心を持ってきました。この施設では、歴史・地理・言語・文学・思想史等、多方面にわたって、独自の文化圏の特色を解明することに努めています。遺跡の発掘や、海を舞台に活躍した人びとの歴史の調査、島民の現在の暮らしや言語文化を訪ねてのフィールドワークなど、魅力的な研究の数々が、皆さんの積極的な参加を待っています。



帝釈峽野外実習施設(帝釈峽遺跡群発掘調査室)

教育システムの特徴・履修方法

- ・分野専門科目の履修に力点を置く修士論文作成コース
- ・分野共通科目や専攻共通科目の履修に力点を置く特定課題研究コース

- ・複数の指導教員による指導体制を整え、広い研究テーマに柔軟に対応

- ・学位取得のためのプロセスの明示とそれに沿った教育研究指導
- ・社会人及びフェニックス特別選抜で入学した者を対象に計画的に課程を修了することができる長期履修制度

教育システム

(博士課程前期に2つの教育プログラムを設置)

複数指導教員制

教育研究の特徴

学位取得スケジュールの整備

論文作成言語の弾力化

- ・論文の内容に応じた適切な言語の使用を可能にし、グローバルイゼーションに対応

カリキュラムの特徴

専攻共通科目

(コアカリキュラム)

分野専門科目

- ・各教育研究分野で、これまでに蓄積された伝統を発展させる柔軟なカリキュラムを準備
- ・新たな社会的要請に対応する教育研究の実施
- ・学位論文作成や特定課題研究のための個別指導を行う授業科目「特別研究指導」

分野共通科目

(ミニコアカリキュラム)

- ・人文学専攻の全学生を対象に、総合人間学講座が開設する授業科目
必修: 総合人間学
選択必修: 人間文化学Ⅰ(日本文化論)
人間文化学Ⅱ(歴史文化論)
人間文化学Ⅲ(漢字文化論)
人間文化学Ⅳ(言語文化論)
人間文化学Ⅴ(表象文化論)
人間文化学Ⅵ(現代文化論)

- ・各教育研究分野に分野共通科目を開設
- ・それぞれの分野の研究を俯瞰する領域横断的な視点を涵養

前期課程

1年次

4月30日(10月31日) 研究課題届提出

2年次

各専攻分野での演習、構想発表会などで、修士論文の進捗状況を報告

10月31日(4月30日) 修士論文題目提出

1月10日(7月10日) 修士論文提出

1月中旬(8月) 修士論文口頭試問

3月上旬(9月上旬) 修了判定

3月23日(9月20日) 学位授与



▲博士學位記の授与

後期課程

1年次

4月30日(10月31日) 研究課題届提出

5月31日(11月30日) 研究計画書提出

2年次

9月30日(3月31日) 博士論文概要の提出

3年次

11月30日(5月31日) 博士論文提出
(博士論文審査委員会の設置)

12月~2月(6月~8月) 博士論文審査

3月23日(9月20日) 学位授与

()は10月入学

奨学制度

独立行政法人 日本学生支援機構 の奨学制度

2018年度の奨学金貸与者数

●博士課程前期 第一種(無利子) 13名 第二種(有利子) 4名

●博士課程後期 第一種(無利子) 7名 第二種(有利子) 0名

大学院において第一種奨学金の貸与を受け、在学中に特に優れた業績をあげた場合、返還の全部または一部が免除される制度もあります(特に優れた業績による返還免除)。

日本学術振興会 特別研究員 (PD・DC)

博士課程後期修了者(PD)及び博士課程後期在学者(DC)等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨学金を支給する制度です。

【過去6年間の採用者数】

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
PD特別研究員	0	2	1	1	0	0	0
DC特別研究員	2	4	6	3	3	2	1

T・A制度

T・A(ティーチング・アシスタント)は、主に博士課程前期・後期の学生を対象とし、教育補助業務等により学部教育の充実を図るとともに、本人に対しては指導者としての機会を提供しようとする制度です。

2018年度 67人採用

R・A制度

R・A(リサーチ・アシスタント)は、博士課程後期の学生を対象とし、本研究科で行う研究プロジェクト等に参加させることにより研究体制を強化すると同時に、若手研究者の育成等を図るために設けられた制度です。

2018年度 10人採用

部局間協定

文学研究科では、以下の大学と部局間協定を締結して、共同研究や教員・学生の交流を進めています。

国名	大学名等	締結年月日	国名	大学名等	締結年月日
インドネシア共和国	ガジャ・マダ大学 文化研究学部	2010.3.15	中華人民共和国	首都師範大学外国語学院 同 中国詩歌研究センター	2002.2.15
	バジャジャラン大学 文学部	2010.3.15		蘇州大学 社会学院	2004.3.17
ベトナム社会主義 共和国	ベトナム国家大学ハノイ校 人文社会科学大学	2017.3.20		北京大学 歴史学系	2007.9.22
	ベトナム国家大学ホーチミン市校 人文社会科学大学	2017.6.28		長江師範学院	2008.6.24
スイス連邦	ローザンヌ大学 文学部	1999.8.23		寧波大学 外国語学院	2008.7.24
ドイツ連邦共和国	ヴェストファーレン・ヴィ ルヘルム大学 第8学部(歴史・哲学)	2012.3.14		湖南大学 外国語学院	2008.8.20
	ブラジル連邦共和国	サンパウロ大学 人文学部		2013.9.10	復旦大学 歴史学系
台湾	台湾大学 文學院	2014.12.12		清華大学 人文社会科学学院	2009.4.24
				中国人民大学 外国語学院	2015.3.13
				山西師範大学 外国語学院	2016.2.8
				東北大学秦皇島分校 言語学院	2016.2.8
				国際関係学院 外国語学院	2016.3.2
				中山大学 外国語学院	2016.4.12
				北京第二外国語大学 日本語学院	2016.10.7
			暨南大学 文學院	2019.4.8	

選抜試験

博士課程前期

●2019年10月入学

一般選抜・社会人特別選抜・フェニックス特別選抜
試験日 2019年7月28日(日)
入学願書受付期間 2019年7月1日～5日

●2020年4月入学

一般選抜・社会人特別選抜・フェニックス特別選抜
(1) 試験日 2019年7月28日(日)
入学願書受付期間 2019年7月1日～5日
(2) 試験日 2020年2月8日(土)
入学願書受付期間 2020年1月10日～17日

社会人学び直しプログラム特別選抜
試験日 2019年11月24日(日)
入学願書受付期間 2019年10月3日～9日

●2020年4月・10月入学

外国人留学生特別選抜Ⅰ
試験日 2020年2月8日(土)
入学願書受付期間 2020年1月10日～17日

外国人留学生特別選抜Ⅱ
書類審査
入学願書受付期間 未定(2019年12月下旬)

博士課程後期

●2019年10月入学

一般選抜・社会人特別選抜Ⅰ
試験日 2019年7月28日(日)
入学願書受付期間 2019年7月1日～5日

●2020年4月入学

一般選抜・社会人特別選抜Ⅰ
試験日 2020年2月8日(土)
入学願書受付期間 2020年1月10日～17日

●2019年10月入学

社会人特別選抜Ⅱ
書類審査・口述試験
入学願書受付期間 2019年6月12日～21日

●2020年4月入学

社会人特別選抜Ⅱ
書類審査・口述試験
入学願書受付期間 2019年11月28日～12月11日

課程区分	選抜区分	筆記試験	口述試験
博士課程前期	一般選抜	●	●
	社会人特別選抜	●	●
	フェニックス特別選抜		●
	社会人学び直しプログラム特別選抜		●
	外国人留学生特別選抜Ⅰ	●	●
博士課程後期	一般選抜	●	●
	社会人特別選抜Ⅰ	※●	●
	社会人特別選抜Ⅱ		●

※入学時において教育・研究職に3年以上在籍し、5本以上の研究論文がある場合には、本人の申し出によりそれぞれの専門分野で事前協議を行った上、研究論文の審査をもって筆記試験に代えることができます。



詳細は下記にお問い合わせください。

広島大学文学研究科支援室

(学生支援担当)

〒739-8522 東広島市鏡山1-2-3

TEL:082-424-6615

E-mail: bun-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/>

